Fe	500000
	担当部署
Fe	生化

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		特記事項なし
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	溶血による影響を受ける為、採血時に注意が必要。 日内変動があるため採取時間を定めて行うほうがよい。特に早朝空腹時が望ましい。
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体
保管検体の保存期間	冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部				
測定時間	当日中～翌日				
生物学的基準範囲	40-188μg/dL 日本臨床検査標準化協議会　共用基準範囲				
臨床判断値	設定なし				
基準値				単位	μg/dL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
40	188	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因	日内変動：朝高く(午前 7-10 時が最高、夜間低い。正常者では朝の最高値が夕方の最低値の 2 倍以上に及ぶことも少なくない。 年齢による変動：成長期には赤血球量および体組織量の増大があり、運動量の増加や偏食、食物量の不均衡など種々の要因が重なるため、成人より鉄欠乏に陥りやすい。また、高齢者の血清鉄値はやや低い。 性差：受胎可能な健康女性の血清鉄の平均値は、男性に比べて 15-20μg/ｄL 程度低い。女性は月経のため月に20-30μg/ｄLの鉄を失うため、女性の鉄貯蔵量は同年代の男性よりはるかに少ない。 妊娠による変動：妊娠時には、胎児の発育に必要な鉄分を供給するばかりでなく、母体の赤血球量の増加や出産時の出血などにより、鉄欠乏をきたしやすい。				
臨床的意義	血清鉄は、造血機能を反映するため、主に血液疾患で測定される。鉄欠乏や鉄過剰に起因する疾患の鑑別や、治療効果の判定のために測定される。また、血液疾患以外(肝疾患)でも測定される。 日本臨床第 7 版 301,2009				